

ちよふの教育

発行 調布市教育委員会 編集 教育部教育総務課（刊行物番号 2024-139）
調布市ホームページ <https://www.city.chofu.lg.jp/>



調布市立図書館
公式キャラクター じろ



No.90
3/20
令和7年(2025)



調布市中学生 海外体験学習事業



1 概要

次代を担う調布市の中学生在が、外国の文化、生活、価値観等を直接肌で感じることで、国際的な視野を広め、現地校等での直接体験を通して、国際感覚や豊かなコミュニケーション能力を育成するとともに、国際社会で主体的に行動できるグローバルな人材の育成を図ることを目的として実施します。

2 体験学習先

オーストラリア連邦 西オーストラリア州 パース(予定)

3 対象・募集人数

市立中学校第2学年・16人

4 日程

令和7年8月予定(9日間)

5 内容

現地学校の体験学習やオーストラリアの自然や文化を体験できる体験学習等を実施します。
※内容に変更が生じる場合があります。

6 その他

詳細については、令和7年3月下旬に各市立中学校から周知します。

問合せ／社会教育課 ☎481-7488



「みまモーニング」の試行実施

(調布市立小学校児童への早朝見守り事業)



1 概要

朝の保育園の開始時間と小学校の登校時間が異なるなどによる、「朝の小一の壁」の解消に向けて、学校始業前まで、見守り員(市が業務委託)が児童の見守りを行います。
令和6年11月に実施した保護者アンケートにおいて、利用を希望する児童数の多い上位4校をモデル校として設定し、5月7日(水)から試行的に実施します。

2 実施校・実施時期(試行実施)

第一小学校、石原小学校、北ノ台小学校、調和小学校 令和7年5月7日(水)から試行的に実施

3 対象

全学年の児童(保護者が児童の登校時刻より早く出勤するなどにより、希望する家庭の児童)

4 時間

学校登校時間前の午前7時30分から8時15分まで
(土日祝、3季休業期間など学校休業日は除く。)

5 場所

学校施設内(体育館など)

6 内容

本を持参しての読書、他の児童と会話を楽しむなど、教室と同じように過ごします(怪我・事故防止のため、遊具を使用した遊びはできません。)

7 その他

利用料金は無料です。

詳細については、市ホームページ及び試行実施4校の保護者を対象に、すぐー(調布市学校安全・安心情報配信システム)を通じて、お知らせします(令和7年4月中旬頃を予定)。試行実施4校における検証などを踏まえ、他の小学校への拡充について検討して参ります。



問合せ／教育総務課 ☎481-7145

若葉小学校・第四中学校・ 図書館若葉分館の建替えを進めています



▲南側止部から見た新校舎イメージ図
※イメージ図は、実際の建物とは異なる場合があります。

事業スケジュール

現時点

新校舎 供用開始

令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)	令和10年度 (2028年度)
事業者 選定等	基本設計 実施設計	新校舎建設工事		校舎解体 外構工事	

若葉小学校、第四中学校及び図書館若葉分館において、PFI手法を活用し、校舎の建替え事業を進めます。令和6年度から設計を開始しており、令和9年度の新校舎の供用開始を目指し、令和7年度に建設工事に着手する予定です。工事期間中は、ご迷惑をお掛けいたしますが、ご理解ご協力をお願いいたします。



▲東側止部から見た新校舎イメージ図
※イメージ図は、実際の建物とは異なる場合があります。

これまでの改築の取組は
こちらをご覧ください



問合せ／教育総務課 ☎481-7466



令和7年2月～

図書館で新しいサービスを 開始しています!

～ICタグシステム導入によりご利用方法が変わります～



かんたん

・セルフ貸出機の簡単操作
で複数冊でも一度で完了



はやく

・自動返却機投入で即時返却
待ち時間なし



べんり

・たづくり1階で予約本受取り可
・セルフ貸出でプライバシー向上

自動返却機※1※2



セルフ貸出機※1※2



予約本受取コーナー※3



※1 宮の下、緑ヶ丘、若葉の各分館は移転後の導入を検討しています。
※2 一部、カウンターでの貸出・返却になる資料があります(他自治体からの借用本、マンガセット、視聴覚資料、CD・DVDが付属した資料等)。
※3 中央図書館のみ設置。

※調べものや本の
相談・問合せは職員へ
お声かけください。



問合せ／中央図書館 ☎441-6181

令和6年度

調布市教育委員会表彰式

令和7年2月26日(水)に調布市グリーンホール 大ホールで、スポーツ・文化活動等において、他の模範となる顕著な活動をした児童・生徒等を表彰しました。

今回は、令和6年度分50件、令和5年度分5件の表彰を行い、教育長・教育委員から受賞者一人一人へ表彰状を授与しました。

表彰理由等、詳細は市ホームページ(右のQRコードからアクセス可)をご確認ください。



被表彰者一覧 (敬称略) (令和7年2月26日時点)

●教育上特に推薦に価する
善行のあったもの

野口 由希葉 (第八中)

●有益な調査・研究をしたもの

浄閑 康希 (杉森小)

中島 凜都 (飛田給小)

福永 絢 (第六中)

傍士 夏妃 (第六中)

●スポーツにおける活躍

大原 佑雛 (第二小)

中島 啓佑 (第二小)

西山 京 (第二小)

柿田 笑 (第三小)

井村 健路 (八雲台小)

福田 彩葉・萩原 彩乃

(深大寺小・飛田給小)

小野 詩織 (若葉小)

清野 蒼衣名 (若葉小)

後藤 凜太郎 (北ノ台小)

調布ハンドボールクラブ

(多摩川小・柏野小・国領小・調和小)

齋藤 日和 (飛田給小)

鈴木 彩音 (飛田給小)

鈴木 晴人 (飛田給小)

窪田 光莉・中北 遥葵・

小山田 あかね

(国領小・国領小・調和小)

立原 裕将 (国領小)

佐藤 心花 (布田小)

下平 美雪 (調布中)

久保 佑生 (神代中)

野口 諒太郎 (神代中)

石坂 太樹・井上 怜美・

間部 心結

(第三中・第三中・第三中)

石崎 美陽 (第三中)

H.C 調布ジュニアユース

(第三中・第四中・

第六中・第七中)

南畑 遥輝・杉本 剣四郎・

稲葉 悠人

(第三中・第三中・第五中)

高井 鉄勝 (第四中)

女子卓球部 (第五中)

男子卓球部 (第五中)

富樫 奨 (第五中)

入江 大智 (第六中)

小林 隼人 (第六中)

塚田 琉斗 (第六中)

migrant junior 女子チーム (第六中)

migrant junior 男女混成チーム

(第六中)

森田 恭介 (第七中)

(過年度)

森岡 駿太 (富士見台小)

上ノ原サンダース (上ノ原小)

上ノ原ファントム (上ノ原小)

柳沢 希 (第五中)

●文化活動における活躍

村林 美羽 (第二小)

五十嵐 麗衣 (八雲台小)

小川 風羽 (八雲台小)

諸留 壮太 (八雲台小)

石塚 更彰 (滝坂小)

藤田 凜 (上ノ原小)

小島 大和 (北ノ台小)

合唱部 (神代中)

木藤 然 (神代中) (過年度表彰を含む)

齊藤 康太郎 (第三中)

梶塚 太智 (第六中)

芳野 龍吾 (第六中)

受賞者代表の言葉

第八中学校第3学年 野口 由希葉 さん

子ども食堂で3年間ボランティアとして参加／「教育上特に推薦に価する善行のあったもの」による表彰

今回、このような賞をいただき、ありがとうございます。受賞に大変驚いております。私は勉強も苦手ですし、皆さんのような優秀な功績を収めた生徒ではありません。正真正銘、ごく普通の中学生です。私はただ小さな親切活動が続けてきました。

それは、子ども食堂のボランティアです。私が小学生の頃は、食事を提供される側でありました。毎回ボランティアの方が温かい食事を用意してくださり、子どもたちの心に寄り添いたいという気持ちが伝わり、大変感動いたしました。

独学でパルーンアートを覚え、子どもたちにプレゼントもしました。いつもみんな笑顔で喜んでくれます。私の小さな親切が大きな情熱となり、人を動かす力になると思っています。どんな小さなことでも、誰かのために自分ができることはきっとある、あなたなら大丈夫、私のように普通の中学生ができるのだからと伝えられる人に私はなりたいです。

最後にこの賞を受賞するにあたり、声をかけてくださった校長先生、クラス一人一人のために全力を注いでくれる担任の先生、勉強が苦手でも明るく接してくれる教科の先生、八中の根源を支えている地域コーディネーターの福田さん、八中すべての教職員の方々に感謝を申し上げます。八中で勉強だけではなく大切なことをたくさん学ぶことができました。私は八中に3年間通うことができて、本当によかった。これだけは私がこの場所で伝えなかったことです。本日はありがとうございました。



受賞者代表の演奏

神代中学校第3学年 木藤 然 さん

第12回津軽三味線津軽民謡全国大会inびわ湖 津軽三味線少年少女部門 優勝他／「文化活動における活躍」による表彰

私が津軽三味線を始めた経緯は、約一年前に同じグリーンホール会場でライブをして大盛況だった「HEAVENESE」という、和楽器を交えた音楽一座を幼い頃から応援しており、その方々の楽曲の三味線パートがとてもかっこよく、私も弾いてみたいと思い、四年ほど前に始めました。

十二月に全国大会ジュニアの部で優勝させていただきましたが、中学生の内に優勝するというのが一つの目標でもあったので、足りない技術を一つ一つ克服するのはとても苦労しましたが、達成感がありました。

今後の目標として、奉納の心で演奏しつつも、三味線の力強く美しい音色や日本文化の良さを伝える気持ちで演奏していけたらと思います。



問合せ／教育総務課 ☎481-7465



わが校じまん

在校生に「わが校」の魅力を「じまん」していただきました。



あいさつが広がる柏野小

柏野小学校6年生

私たちが通う柏野小は、あいさつ運動に全校で取り組んでいることが自慢です。柏野小のあいさつ運動は、調布市のあいさつ運動週間だけではなく、日常的に代表委員が中心となり進めています。学年ごとのあいさつ当番もあり、毎日校門でボランティアの方たちと一緒に元気にあいさつをして一日が始まります。このあいさつ運動を通して、自分からあいさつをする人、自然にあいさつを返してくれる人が増えてきた様子が見られます。また、学校全体が明るくなったと思います。卒業しても中学校や日常生活であいさつを大事にしていきたいし、大事にしていってほしいです。



生徒を支える第七中学校

第七中学校 生徒会長 稲留 佑樹

私が通っている第七中学校の自慢は、私たち生徒を成長させてくれる活動をいくつも行っていることです。その中でも特に素晴らしいと思う活動が七中VNW(ボランティアネットワーク)です。

VNWとは、学年問わず定期的に行われるボランティア活動のことで、落ち葉清掃や地域の夏祭りの手伝いなどを行っています。この活動に参加すると、地域や学校に貢献することができたり、自分の成長に繋がったりすることができます。また、自分の自主性を高めることもできます。

私も生徒会長として、これまで以上に積極的に活動に参加して成長を重ねていくと共に、この活動を後輩にしっかりと受け継ぎ、次の世代にもつないでいきます。



教育委員の改選



委員 えのもと たけのぶ
榎本 竹伸

令和6年10月1日付で教育委員会委員に再任されました。

任期 令和6年10月1日



令和10年9月30日



委員 しらくら だいすけ
白倉 代助

令和6年10月1日付で教育委員会委員に任命されました。

任期 令和6年10月1日



令和10年9月30日



委員 ちだ ふみこ
千田 文子

令和6年12月22日付で教育委員会委員に再任されました。

任期 令和6年12月22日



令和10年12月21日

問合せ／教育総務課 ☎481-7465

教育随想

きょういくずいそう

子どもたちのすてきな笑顔を毎日見ることができる

子どもたちの笑顔を毎日見ることができる。そして、毎日子どもと共に学ぶことができる。これは私が教師を志した原点です。市内では小・中学校とも、子どもと教師が授業で一生懸命学び、休み時間や給食の時には、すてきな笑顔で話すことができます。これは保護者や地域の皆様、教育委員会などの皆様の力をいただきながら、学校教育ができるからにほかなりません。感謝申し上げます。これからも未来に向かい、地域と共にある「楽しい学校」を目指してまいります。

八雲台小学校 校長
上田 義孝



教育委員会の開催状況

令和6年9月から令和7年2月までに、6回の定例会と4回の臨時会が開催されました。

主な案件

- 令和6年第4回調布市議会提出案件について
- 調布市立中学校部活動地域連携・地域移行に関する推進計画(素案)に係るパブリック・コメントの実施について
- 中学校学校選択制に関する検証報告書について

- 教育委員会定例会は原則として毎月第4金曜日に午前10時から、教育会館3階にて開催しています。傍聴は開会15分前から先着で受け付けます。

- 教育委員会の開催日・案件・会議録、教育委員会委員の活動報告、教育長交際費の支出状況など教育委員会の動きを市ホームページ(右のQRコードからアクセス可)で公開しています。



問合せ／教育総務課 ☎481-7465

市立小・中学校全校での
コミュニティ・スクール導入完了へ

令和5年4月から段階的に導入してきたコミュニティ・スクールについて、令和7年4月から新たに第一小学校、八雲台小学校、富士見台小学校、深大寺小学校、若葉小学校、染地小学校、北ノ台小学校、飛田給小学校、調和小学校、第三中学校、第四中学校、第六中学校、第八中学校の13校で導入します。この13校の導入により、市立小・中学校全校での導入が完了します。既に導入している学校では、各学校のペースで「子どもたちを主語」に学校の様々な活動や課題などについて協議が行われています。

※コミュニティ・スクールとは、保護者や地域の皆さんが責任をもって学校運営に参画する仕組みで、「地域とともにある学校づくり」を推進していくものです

※コミュニティ・スクールの詳細については、市ホームページ(右のQRコードからアクセス可)をご覧ください



問合せ／指導室 ☎481-7480

令和7年度 ジュニアリーダー・シニアリーダー講習会メンバー募集!



令和6年度講習会(レクの集い)の様子

ジュニアリーダー（中学生対象）・シニアリーダー（高校生年齢対象）講習会は、市内の中学生・高校生が集まり、ゲームや野外活動などの遊びや体験を通して、学校・学年を超えた仲間たちと一緒にリーダーシップを身につけていく楽しい講習会です。

活動は毎月1回で、全ての講習会に参加できなくても大丈夫です。

※詳細は、市報ちょうふ、市ホームページ等をご確認ください。

問合せ／社会教育課 ☎481-7488

東部公民館開館50周年

東部公民館が昭和 50(1975)年 6 月に開館してから 50 年を迎えます。これを記念して、令和 7 年度ではこれまでの歩みを振り返る、50 周年にふさわしい事業を計画しています。

開館からの歴史を振り返り、音楽で祝う「フェスティバル」や、地域の話や公民館の役割について考える企画を開催します。

また、利用者とともに作る「記念誌」の発行を予定しています。他にも、東部公民館と地域・利用者との絆を感じていただけるものを実施します。

これまでに東部公民館の利用がある方だけでなく、利用がない方も注目していただきたい一年です。ご来館をお待ちしています。



問合せ／東部公民館 ☎03-3309-4505

各地域の保育園、児童館、公立学校との連携について

- **東部公民館** 調布市若葉町1-29-21／☎03-3309-4505

東部公民館は、今年度の地域文化祭テーマ「広げよう笑顔はぐくもう文化」としたサークル活動発表に加え、滝坂小学校には、ホイルアート、第四中学校には、絵画の展覧、神代高等学校には、3Dプリンターによる作品の展覧と吹奏楽部の演奏をしていただきました。来場者からは、大好評でした。



- **西部公民館** 調布市上石原 3-21-6／☎484-2531

西部公民館の今年度の地域文化祭は、「世代をつなぐ文化と仲間」をテーマに開催し、調布中学校には階段アート、第五中学校には絵画の
 出展、ヒューマンアカデミー上石原保育園と城山保育園上石原には
 玄関展示、西部児童館にはダンス
 サークルの出演をいただき、若さ
 と活気に満ちた文化祭になりました。



- **北部公民館** 調布市柴崎 2-5-18 / ☎488-2698

北部公民館は、秋に上ノ原小学校2年生の児童が「町のすてきを見つけよう」という生活科の授業で来館され、学区にある公共施設について学習しました。地域文化祭では、神代中学校や晃華学園の生徒による美術作品の展示、調布城山保育園の園児による作品が来館者を歓迎しました。

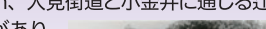


調布の文化財

市指定史跡・近藤勇生家跡

新選組局長として知られる近藤勇^{てんぼう}は、天保5年(1834)、武州多摩郡上石原村(現調布市野水)の富農、宮川源次郎^{みやかわ げんじろう}(久次郎^{ひさじろう})の三男として生まれました。

近藤勇の生家、宮川家は、甲州街道上石原宿から北に約2.4km、人見街道と小金井に通じる辻にありました。屋敷は、主屋のほかに蔵屋敷や文庫蔵、納屋などがあり、庭内には築山が築かれ、屋敷の周りにはケヤキやカシなどが植えられ、裏手には竹林がありました。近藤勇の実父、宮川源次郎は、屋敷内の納屋を剣術道場とし、天然理心流近藤周助を招いて稽古を行っていました。勇が周助の養子となった後は、この宮川家の道場が、調布・三鷹地域の出稽古先として大いに賑わったと伝えられています。



宮川家主屋(昭和10年代)



近藤勇生家跡

屋敷は、昭和18年(1943)、陸軍調布飛行場から飛び立つ戦闘機の妨げになるとの理由で取り壊されました。現在は、勇が生まれた時に産湯に使ったと伝えられる井戸の周り約133㎡が残されているだけで、当時の面影をうかがい知ることではできませんが、地域の歴史を語るうえで欠かすことのできない場所として、昭和52年4月25日付けで市指定史跡に指定されました。

調布市郷土博物館には、宮川家の協力を得て復元した生家模型(縮尺30分の1)が展示されています。

問合せ／郷土博物館 ☎481-7656

郷土学習展「ちょっと昔の暮らし」

郷土博物館では、小学3年生の昔の道具や暮らしについての調べ学習に対応して、所蔵資料から昔の道具を展示し、明治・大正・昭和の調布の様子を紹介する郷土学習展を開催します。

期 間	令和7年1月7日(火)～令和7年3月30日(日)	休 館 日	月曜日(祝日の場合は翌平日)
会 場	調布市郷土博物館 1階展示室 ※入場無料	所 在 地	調布市小島町3-26-2
開館時間	午前9時～午後4時	アクセス	京王相模原線京王多摩川駅 下車徒歩4分



問合せ／郷土博物館 ☎481-7656

QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

令和7年度
就学援助申請受付
～希望する方はお忘れなく!～

4月から
スタート!

●対象者

調布市に居住し、公立小・中学校に在籍する児童・生徒の保護者で、所定の認定要件に該当する方です。申請内容を審査して決定します。

主な認定要件

いずれか1つに該当する方は対象です。
・世帯全員の市民税が非課税である。
・児童扶養手当を受給している。
・世帯の所得の合計が基準額未満である。

収入・所得額の目安

給与所得・賃貸住宅の場合

世帯人数	2人	3人	4人	5人
収入例	約275万円	約376万円	約425万円	約535万円
所得例	約184万円	約256万円	約296万円	約383万円

※世帯構成・年齢・家賃月額などにより異なります。

他の要件もありますので、市ホームページをご確認いただくか、学務課へお問い合わせください。

●申請の手続き

①お知らせ・申請書の配付

毎年4月上旬に各学校から児童・生徒全員に配付します。その他、学務課で受け取るか、市ホームページからダウンロードすることも可能です。
※現在電子申請の導入に向けた準備を進めています。準備が整い次第、手続き方法の詳細をご案内します。

②必要書類

・申請書
・必要な証明書等のコピー（必要な方のみ。申請書の裏面をご確認ください。）

③提出方法

学務課へ持参又は郵送

④受付期間

4月分から支給を受ける場合は、令和7年4月30日（水）までに申請してください。
5月1日（木）以降に申請し、認定となった場合は、申請を受け付けた月の翌月分からが支給の対象となりますので、お早めにご提出ください。

●援助の内容

学用品費・通学用品費・校外活動費・新入学学用品費・新入学準備金・移動教室費・修学旅行費・卒業記念品費・体育実技用具費・通学費・医療費・給食費

※学年や認定月により受けられる援助の内容や支給金額が異なります。詳細は、4月に配付するお知らせをご確認ください。

支給金額の例（年額）

・小学校6年生 約11万円
・中学校3年生 約13万円



問合せ／学務課 ☎481-7473

教育相談のご案内

お子さんの養育や教育について、誰に相談すればよいかとひとりで悩んでいらっしゃいませんか。お気軽にご相談ください。



●来所相談

3歳から18歳くらいまでのお子さんについての相談をお受けしています。お子さんと保護者に来所していただき、心理相談員による継続的な相談やプレイセラピーを行います。
問合せ／指導室 ☎481-7633

●就学相談

通常の学級における指導では、その能力を十分に伸ばすことが困難で、特別な支援が必要なお子さんに、適切な教育の場を提供するための相談を行っています。
【就学相談（令和8年度入学）のご案内】
令和8年4月入学予定のお子さんの就学相談のお申込みは、令和7年4月から受付予定です。詳細は、市ホームページに掲載します。
問合せ／指導室 ☎481-7634

●電話相談

専門の相談員が、学校生活や子育てに関する相談を匿名でお受けしています。
【受付時間】平日午前9時～午後5時15分（土・日曜日、祝日を除く）
問合せ／指導室 ☎481-7777

●教育支援コーディネーターへの相談

小学校1年生から中学校3年生までのお子さんに関する学校・家庭での困りごとや気になることについての相談をお受けしています。
問合せ／指導室 ☎481-7718・7719

1分1分、ちょこっと体を動かそう！
ちょこプラ1調布
ちょこっと プラス1 調布

調布市立学校で
新しい体力向上の
取組が始まります！

調布市立中学校の子どもは、平日の運動時間が少ない傾向にあることがわかっています。そこで、調布市教育委員会は、普段の生活の中で、体を動かす習慣をつくることで、結果として体力が向上し、健康的な生活を送ることができるような取組を始めます。
新たな取組として、「ちょこプラ1(ワン) 調布」と題した取組を全校で実施します。「ちょこプラ1(ワン) 調布」では、きっかけとなるはじめての1分間を大切に体を動かしていくことで、結果として、1日平均60分以上身体活動を行う子どもを増やし、体力の向上につなげていきたいと考えています。
調布市立学校の教員が集まって開催した「体力向上検討委員会」では、これからの体力向上の取組に求められる方向性を確認し、新たな取組としての「ちょこプラ1(ワン) 調布」について、各学校でどのように取り組んでいくのか、学校間で情報共有を行いました。
「ちょこプラ1(ワン) 調布」は、各学校の実態に応じた取組を推進していきます。
問合せ／指導室 ☎481-7480



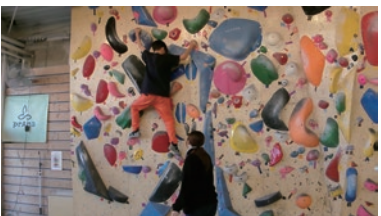
市立中学校部活動地域連携・地域移行に向けて

中学校の部活動は、全国的に少子化が進展し、一部の集団競技では、チームを編成することができず試合に出場することが困難な活動があることや休日の指導・大会引率などの活動を担う教員に大きな負担があることから、これまでと同様の体制で活動を継続することが困難な状況にあります。このような状況を踏まえて国や東京都の指針が示され、市では、市の実態に合った部活動の地域連携・地域移行を実現するため、パブリック・コメントを経て、令和6年12月に「調布市立中学校部活動地域連携・地域移行に関する推進計画」を策定しました。
今後は、この推進計画に基づき地域連携・地域移行に向けた取組を実施し、令和9年度以降、可能な限り早期に全ての休日部活動において地域連携又は地域移行を実施し、生徒が地域人材等による技術指導を受けられていることを目標に進めていきます。

※地域連携とは、学校が主体となって行う部活動において、部活動指導員等の地域人材を活用しながら生徒の活動機会を確保するものです。
※地域移行とは、地域が主体となって行う地域クラブ活動によって、部活動を代替するものです。

●令和6年度トライアル事業を実施●

部活動の地域連携・地域移行に向けた取組として、令和6年12月～令和7年3月にかけて、合同部活動や地域クラブ活動のトライアル事業を実施しました。このトライアル事業での成果や課題を検証し、調布の地域資源を活用した「調布モデル」の構築を検討していきます。



(マルチスポーツ(ディスクサッカー)) (スポーツクライミング)

※部活動の地域連携・地域移行に向けた取組については、市ホームページ(右のQRコードからアクセス可)をご覧ください。



問合せ／指導室 ☎481-7480